

平成29年度日進市立学校給食センター運営委員会（第2回）議事録

日時 平成30年3月19日（月）

午後1時～

場所 日進市立学校給食センター
2階会議室

[出席者] 早川 佳秀
川越 茂子
中澤 歩
深町 恵子
金山 和弘
川井 進

[欠席者] 説田 正、宮道 弘巳

[事務局] 教育部次長 伊藤 肇
学校給食センター所長 笠井 新一
栄養士 山本 重樹
主幹 星野 千鶴

[傍聴者] なし

[議題]

- 1 平成30年度主要事業（案）について
 - (1) 基本方針と目標について
 - (2) 当初予算（案）について
 - (3) 給食実施計画について
- 2 平成30年度及び31年度学校給食用物資納入業者について
- 3 その他

(開会 午後0時58分)

事務局：(時候のあいさつ)

平成29年度第2回日進市立学校給食センター運営委員会を開催します。

会 長： 本日は、お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。

(あいさつ)

本日は、説田委員と宮道委員より欠席の連絡をいただいております。6名の出席で、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、運営委員会規則第7条によりこの会議は成立します。

本日は傍聴の申し出はございません。会議は、お手元の次第に沿って進めてまいります。

議題(1) 平成30年度主要事業(案)について。

基本方針と目標、当初予算(案)、給食実施計画の3項目について、事務局から説明願います。

事務局： (3項目について、それぞれの資料に基づき説明)

会 長： 来年度の主要事業(案)について説明がありましたが、ご意見、ご要望、ご質問などございましたらご発言をお願いします。

(発言者、なし)

それでは、以上3つの項目からなる議題1につきまして、安全安心な給食づくりに心がけていただきますようお願いいたします。

それでは、議題2に入ります。平成30年度及び31年度学校給食用物資納入業者について、事務局から説明をお願いします。

事務局： (資料に基づき、学校給食用物資納入業者について報告)

会 長： ありがとうございます。何か、ご意見、ご質問、ございませんか。

(発言者、なし)

会 長： 本校では今年度、2～3件の異物混入がありました。この時、調理

段階ではなく業者から納品された食品が原因というていねいな報告書をいただきましたが、同じことが繰り返されることはないですね。

事務局： 異物混入の原因が納品された食品にあると限定するなら、今年度もありました。調理段階で注意を払い、下処理の段階で取り除くよう心がけていますが、複数の調理過程で取り除くことのできない場合に、異物混入という結果になってしまいます。

センターで異物を発見したときは、センター内で検証を行い、納品された食品が原因であると判断した場合には、納入業者の調査により原因を究明し、その結果と再発防止策を顛末書等により報告するといった手続きとなります。

会 長： 度重なる場合、業者を代えるといったことはあったのか。

事務局： そういったことはありません。

副会長： 異物というのは、具体的にはどのようなものがあるのか。

事務局： 肉類の骨。

副会長： 骨。

事務局： 取り除くことのできない小さな骨。野菜であれば、付着している虫類、類似したほかの野菜。

会 長： 本校では、卵焼きにビニールが付着していました。

事務局： プラスティック類などですね。

副会長： 調理の段階で見つかるのか。

事務局： そうですね。大半は、調理場内で見つかっています。

会 長： ありがとうございます。ほか、よろしいですか。

(発言者、なし)

会 長： では、議題3 その他ということですが、事務局、何かありますか。

事務局： （ 簡単な事務連絡 ）

会 長： ありがとうございます。事務局にお返ししますのでよろしく願いします。

事務局： 本日は、教育部次長が出席していますので、教育部次長からご挨拶申し上げます。

（ 教育部次長あいさつ ）

会 長： この機会に委員から一言ずつお願いします。

委 員： （ 簡単な自己紹介 ）

アレルギーがとても多くて、学校の先生方も困っていらっしゃるようです。もちろん、子どもたちや保護者も困っておられます。私なりにお手伝いできればと思っています。

委 員： （ 簡単な自己紹介 ）

今後ともよろしくお願いします。

委 員： 私どもは、食物アレルギーとは無縁の子どもなので、このようにきちんと給食が作られていることがわかり、勉強になりました。今、中学2年生なので、あと1年間、給食にお世話になりますので、よろしくをお願いします。

委 員： うちの子どもも食物アレルギーとは無縁で、給食も毎日おいしくいただき、おかわりもしているので、他のお子さんの倍以上食べているようです。家では、手のかからない料理になることもあります。郷土料理や季節料理が給食で出たときなどは、家で話をしてくれます。いろいろと考えられており、いいと感じました。PTAの役員をやるようになり、試食会等で給食をいただく機会にも恵まれ、子どもたちの食べている給食の内容がわかり、いい経験ができました。ありがとうございました。

委員： 私どもも6年生と3年生の女の子が二人ですが、6年生の娘は、クラスで残った牛乳を飲んでいるようです。給食も大好きで、男の子に混ざって、残り物の給食じゃんけんに加わっているようです。とてもよく食べる子で、朝もパンではなくご飯を大人のお茶碗で1～2膳、食べてから登校しています。ただ、豆類、雑穀米等が苦手です。低学年のころは、食べられなかったのですが、食べずにいるとおなかがすくそうなので、仕方なく食べているうちに、食べられるようになったと言っています。給食のおかげです。今は好き嫌いもなくなり、私もうれしく思っています。今日いただいた給食には、野菜がたくさん入り、栄養も摂れると実感できました。ありがとうございました。

会長： 子どもたちも給食の時間はニコニコ顔で、われわれ学校の教職員も給食で、助かっています。

事務局： 貴重な意見をいただき、ありがとうございました。

栄養士でいただいたご意見を共有し、これからも安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。

これをもちまして、第2回学校給食センター運営委員会を終了いたします。

(閉会 午後1時24分)